

平成23年度 四條畷市野外活動センターの管理運営に対する評価票

所管課：教育委員会 青少年課

評価対象：平成23年4月1日～平成24年3月31日

評価委員会開催日：平成24年10月23日

1 指定管理者

指定管理者	特定非営利活動法人ナック
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日（5年間）
施設概要	市民が余暇時間の活用として日常生活から離れ、豊かな自然環境の中で、森林浴や日光浴などを通じて、心身のリフレッシュを図るとともに、新たな仲間づくりやコミュニティづくりを進めることを目的とする。
指定管理料	12,217千円（5年間 61,085千円）

2 管理運営の内容

項目	23年度の状況
運営状況	<p>○平等利用のための手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーブルやイスの増設を行い、大きな団体等の利用を促進した。 ・日帰り利用の受入れスペースを従来の100人から300人まで拡大した。 <p>○自主事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋季にオータムフェスティバルなどの催しを実施。 ・キャンプファイヤーなどレクリエーションゲーム、自然散策ハイキング、天体観測など様々なプログラムを提供しており、希望者が居れば資格所有者によるネイチャーゲームなど自然体感プログラムの提供など、対象に合わせたプログラム開発を行っている。 <p>○施設の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市立デザイン教育研究所との協働により、施設パンフレットの作成を行った。 ・利用促進活動としては、広報紙やホームページの活用、野外活動センターホームページでの事業案内の更新、近隣施設やJR四條畷駅へのチラシの配布に努め、簡単な月間施設案内チラシ「SORA(そら)においでよ」の配布に力を入れ、利用促進を努めた。 <p>○安全確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種安全マニュアルを備え、それに沿った対応を図るよう研修に努めている。同時に自衛消防組織も編成し、防災意識の向上に努めている。
維持管理状況	<p>○保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨天時に備えたテント周辺の土盛り、常設テントのロープの緩み、ペグの固定状態を確認している。 ・軽微な保守については職員が行っている。 <p>○清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドの草刈り、トイレ清掃 <p>○環境への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前施設管理者が設置した雨水タンクを活用し、畑の水やり・打ち水等に使用し、水道の節水に努めている。 ・廃棄物については、分別排出を職員が行い、利用者にも呼びかけている。

利用状況	年間利用者数は日帰りが6,447人、宿泊が603人であり合計7,050人の利用であった。 前年度と比較し、日帰り利用者数は1,555人増加し、宿泊利用者数は254人増加した。
収支状況	自主事業の支出があったため314,361円の赤字となった。

3 利用者へのアンケート調査

項目	23年度の状況
調査の実施内容	対象：施設利用者 調査方法：施設利用者を対象にアンケートを配布し、回収した。 回答件数：49件
調査の結果	施設利用の印象・雰囲気：「良い」40件、「普通」8件、「良くない」1件 職員の対応：「良い」47件、「普通」2件
主な苦情・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・アーチハウスの階段の段差が大きく不自由でした。 ・施設内にコテージがあれば良いと思います。 ・小さい子ども用の洗面台があれば助かります。 ・GWや秋の連休、土日などは、夜のバーベキューも受け付けて欲しい。

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ○4 ●3 ○2 ○1
講評	<p>日頃からホスピタリティ溢れる接客や柔軟な対応を心掛けており、施設利用者に行なったアンケート結果からは、職員の対応について利用者からの評判が良いが、9月よりのアンケート実施でアンケートの母数が少ないため正確な評価とはいいがたく残念である。</p> <p>また、施設の案内パンフレットを大阪市立デザイン教育研究所と協働で新たに作成し、施設のPRにも力をいれていることや「オータムフェスティバル」といった自主事業にも積極的に取り組んでいることは評価できる。</p> <p>利用者数については、野外テーブル用テント増設等を行い、平成22年度よりも大幅に増加しており、努力の結果が見え評価できる。今後もさらに担当部局との連携・協議を行い、市民にとって利用しやすい施設となるよう努力して欲しい。</p> <p>今後は、施設の案内パンフレットを再検証する際は、施設周辺のPRも忘れず行って欲しい。また、野外活動センターにはボランティアの育成も期待してサービスの向上を図るとともに、収支のバランスの取れた経営を心掛けてもらいたい。特に大きな事故もなく円滑に運営をされていた点も評価でき評価としては3であるがそれ以上の評価ができる事から、良好な3と評価する。</p>

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る（非常に満足できる）結果
- 4 計画内容をやや上回る（満足できる）結果
- 3 計画内容どおりの（妥当と判断する）結果
- 2 計画内容をやや下回る（不満が残る）結果
- 1 計画内容を下回る（非常に不満が残る）結果